

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成27年 11月20日

計画の名称	1 高石市公共下水道長寿命化計画																
計画の期間	平成26年度 ~ 平成26年度 (1年間)					交付対象	高石市										
計画の目標	公共下水道施設の老朽化に伴い、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止するため、限られた財源の中で、ライフサイクルコスト最小化の観点で踏まえ、耐震化等の機能向上も考慮した下水道施設の計画的な改築を推進する。																
計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道長寿命化計画を策定し、策定率を0.0% (H26当初) から1.0% (H26) に増加させる。																
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値		備考					
										当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (-)		最終目標値 (H26末)				
	①下水道施設長寿命化計画策定率 = (長寿命化計画策定済み面積 (ha) / 長寿命化計画を策定すべき面積 (ha))									0.0%	-	1.0%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	10百万円 10百万円	A	8百万円 10百万円	B	-	C	2百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		20.0% 0.0%						
事後評価 (中間評価)																	
○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期																	
事後評価 (中間評価) の実施体制						事後評価 (中間評価) の実施時期											
高石市にて実施						平成27年度											
						公表の方法											
						高石市ホームページにて公表											
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A-5	下水道	一般	高石市	直接	-	合流	新設	管路長寿命化計画策定	点検・調査・計画策定	高石市						8 10	長寿命化
合計											8 10						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
C-5	下水道	一般	高石市	直接	-	合流	新設	管路長寿命化計画策定	点検・調査・計画策定	高石市					2 0	長寿命化	
合計											2 0						
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						
C-5	基幹事業 (A-5) で実施する管路長寿命化計画策定と一体的に整備することで、長寿命化計画策定の早期策定促進を図る。																

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		管路長寿命化計画の策定率を0%（平成25年度末）から16.7%（平成26年度末）に増加させたことにより、限られた財源の中で、ライフサイクルコスト最小化の観点を踏まえ、耐震化等の機能向上も考慮した下水道施設の計画的な改築を行うことが可能となった。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 施設長寿命化計 画策定率）	最終目標値	1.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画では幹線のみを対象にした長寿命化計画の策定を想定していたが、実施にあたっては、幹線以外の布設年度の古い末端管渠まで含めた、広範囲な長寿命化計画を策定したため、策定率が増加した。
		最終実績値	16.7%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>今後は、策定した管路長寿命化計画に基づき、管路の計画的な改築を推進し、限られた財源の中で、ライフサイクルコスト最小化の観点を踏まえ、耐震化等の機能向上も考慮し、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防いでいく。</p>					

(参考様式3)

(参考図面)

